

米に関するマンスリーレポート（北陸版）

（令和7年3月号）

1 令和7年産の水田における作付意向について（令和7年1月末時点）

農林水産省は、令和7年産の水田における作付意向（令和7年1月末時点）を公表しました。

今回からよりきめ細やかな情報提供を行うため、従来の矢印情報（前年産実績からの増減）に加えて、面積情報（全国、都道府県）を公表することとしました。前年産実績と比較し、**主食用米の作付意向が増加傾向にある都道府県は19県、前年並みは24県、減少傾向は4県**であり、北陸では全県が増加傾向にあります。

なお、今回の作付意向は、各生産者からの聞き取りではなく、市町村の地域再生協議会段階での見通しを示したもので、今後、生産者の作付意向が反映されることにより変動が見込まれます。

公表ページURL：https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s_taisaku/250319.html

都道府県	主食用米			戦略作物														備蓄米	
				加工用米	新規需要米								麦		大豆				
	新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)												
	6年産実績	7年産意向	6年産実績		7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向	6年産実績	7年産意向		
	6年産実績	7年産意向	対前年実績																
全国計	125.9万	128.2万		50.2	47.3	11.2	11.6	6.3	6.3	98.7	85.1	56.5	56.7	103.1	101.0	84.4	80.8	30.0	25.9
新 潟	101.4	102.8		6.8	6.6	1.8	1.9	1.4	1.4	2.9	2.5	0.7	0.7	0.2	0.2	3.9	3.7	4.7	3.8
富 山	31.2	32.0		1.1	1.2	0.4	0.4	0.3	0.3	1.9	1.7	0.5	0.5	3.3	3.3	3.7	3.2	1.8	1.7
石 川	21.2	21.6		0.5	0.5	0.1	0.0	0.2	0.2	0.5	0.3	0.1	0.1	1.2	1.0	1.0	0.8	0.2	0.3
福 井	21.9	22.5		0.5	0.5	0.3	0.3	0.1	0.1	1.5	0.9	0.2	0.2	5.2	5.0	0.1	0.1	0.7	0.7

注1：主食用米の6年産実績は、令和6年12月統計部公表の主食用作付面積。
注2：主食用米、戦略作物及び備蓄米の「7年産意向」は、地方農政局等が、1月末時点で都道府県再生協議会等に聞き取った面積。
注3：主食用米の「対前年実績」は、6年産実績と比較し、「▲」：増加傾向（1%超増加）、「→」：前年並み（増減1%以内）、「△」：減少傾向（1%超減少）で分類。
注4：加工用米及び新規需要米（米粉用米、飼料用米、WCS、新市場開拓用米）の6年産実績は、取組計画の認定面積。
注5：麦、大豆の6年産実績は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
注6：備蓄米の6年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。
注7：麦・大豆の7年産意向は、基幹作の面積。
注8：戦略作物及び備蓄米の数値は、6年産実績と比較し、「▲」：増加傾向（1%超増加）、「黒」：前年並み（増減1%以内）、「△」：減少傾向（1%超減少）で分類。

2 政府備蓄米の買戻し条件付売渡しについて

6年産の生産量は前年産より多い一方で、集荷の大宗を担うJA等の集荷業者に米が集まっていなことから、**全体として供給に不足が生じていないものの、異業種の事業者の参入等により流通形態が多様化したことで、円滑な流通に支障が生じています。**このため、流通の目詰まりの解消を図るべく、集荷業者を対象に政府備蓄米の買戻し条件付売渡しを行うこととしました。

第1回入札結果

入札実施日：令和7年3月10日(月)～12日(水)

入札参加者：7事業者

落札数量：141,796トン（落札率 94.2%）

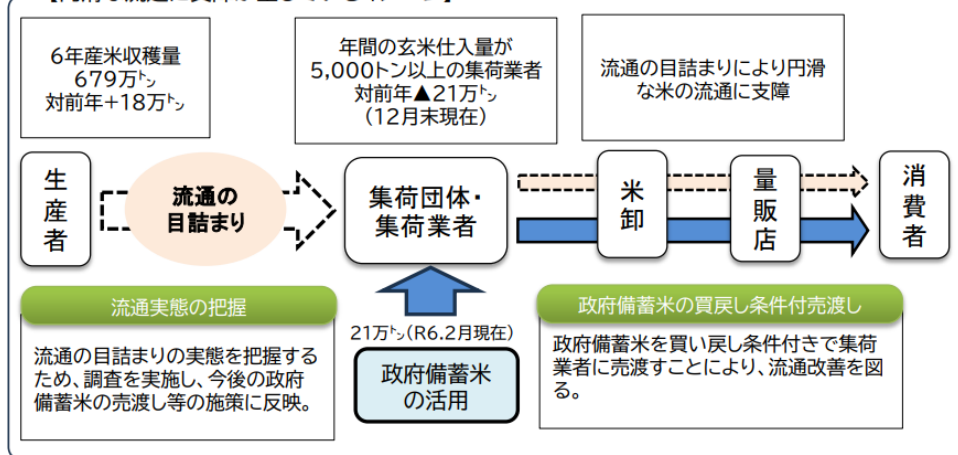
（販売提示数量 150,579トン）

※落札に至らなかった8,783トンは、全て5年産

落札価格：21,217円/60キログラム

※消費税及び地方消費税相当額を含まない容器包装込みの玄米60キログラム当たりの金額

【円滑な流通に支障が生じているイメージ】



詳細については以下のURLからご確認ください。

https://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/bichiku_hambai.html

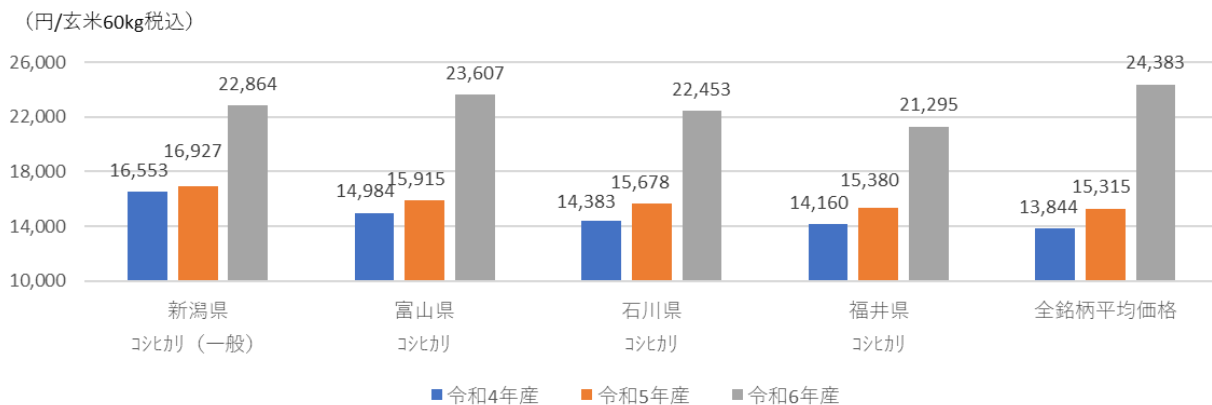
令和6年能登半島地震及び9月20日からの大雨に関する情報

営農再開に向けた現地相談窓口においては、引き続きご相談を受け付け対応しております。
支援や相談窓口の詳細は[こちら](#)（🔗 クリック）、または右記二次元コードからご覧ください。



1 米の相対取引価格

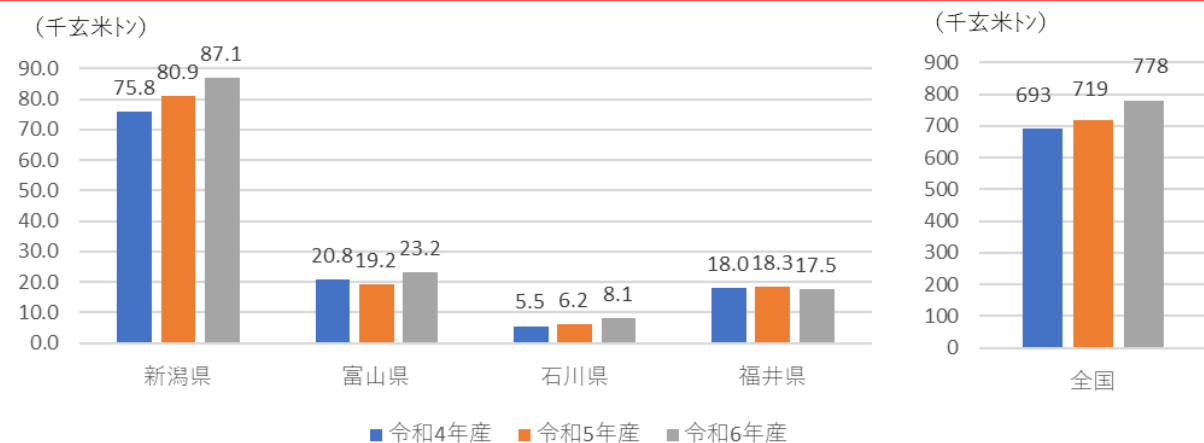
令和4年産及び、令和5年産は出回りから翌年10月まで、
令和6年産は出回りから令和7年2月までの平均価格



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
2 価格は、出荷業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものである。
3 価格に含む消費税は、軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
4 加重平均に際しては、新潟は受渡地を東日本としているものを、富山、石川、福井は受渡地を西日本としているものを対象としている。
5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の取引状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。
また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。
6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウエイトで加重平均により算定している（5年産は速報値）。
7 全銘柄平均価格、報告対象産地品種銘柄ごとの前年度検査数量ウエイトで加重平均により算定している。

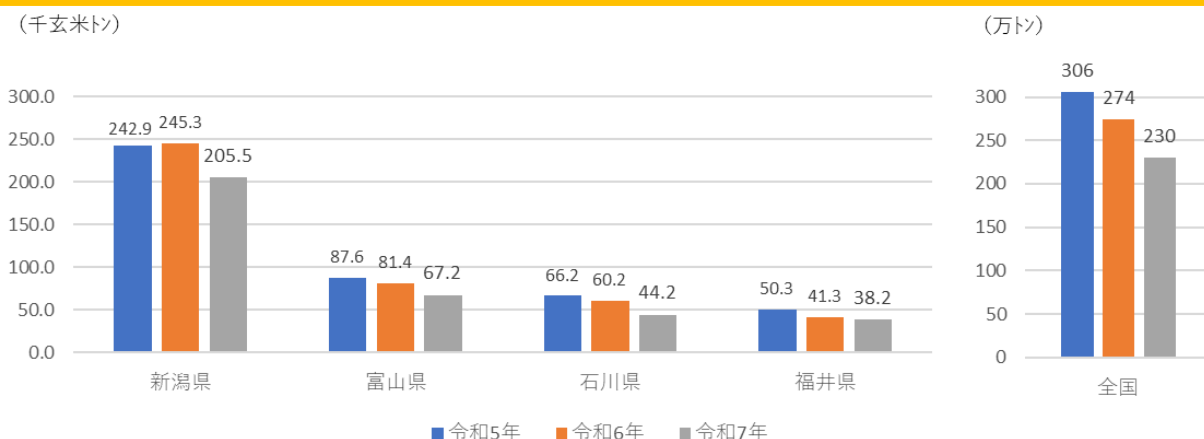
2 米の産地別販売状況（1月末現在）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。
3 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

3 産地別民間在庫の推移（1月末現在）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
2 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。



←もっと詳細な情報をご覧になりたい方は農林水産省HPへ

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

もっと北陸の情報をご覧になりたい方は北陸農政局HPへ→

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/>

農林水産省 北陸農政局

